

医工連携イノベーション推進事業（開発・事業化事業）
事後評価結果

1. 補助事業課題名 : AI 救急予測アルゴリズムの実用化を目指した検証の研究開発
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 中田 孝明（株式会社 Smart119）

<評価コメント>

脳卒中患者の転帰の改善を目的とした、医師、救急隊による脳卒中の予測・診断補助プログラムを開発するとしており、当初計画における実施項目としては、ほぼ達成していると言える。千葉県では既に実績をあげている。しかしながら、PMDA 相談の結果、クラスⅢの SaMD として大規模な治験が必要となったことを受け、事業継続困難に至った経緯を総括し、社会実装の手法について関係者と再検討していただきたい。

以上